

社

受給の平均年齢を調査の結果

『東京七日發電通』民政黨では地 が大會の控制りさして十四日千栗 に開東大會を開く等である

小泉遞相退院

民政關東大會

改正案成る

調査會で

更に研究

政黨對議會策 二ツの場合を豫想して

能の後を受け慎重な用意を以て之

一十十分 ・首相が休會明け議會に臨み反 南提の下に對議會でも往來通り議會 の邀務に當るべく體力が許さ的 樹でる、この場合は重大な説明 樹でる、この場合は重大な説明 樹でる、この場合は重大な説明 が上海合についても考慮の上對策を 樹でる、この場合は重大な説明 がないに質問にだけ首相が當り外 並びに質問にだけ首相が當り外 がが野薫側は露社事件を提 外ないが野薫側は露社事件を提

與黨の對議會陣容

もない

い見込み

支那鐵道の影響は極めて微々

ふらん神鞭理事談

交渉不調か

在支紡績業の打撃大

一件次即、櫻 の土を披掘し加藤鯑一氏な据へん 「 木春三四 「無總粉されれば幹事長は少駐有鷺」 「 木春三四 「無總粉されれば幹事長は少駐有鷺」 「 株華に幹事長さしては富田氏が輝き 「 大春三四 「無總粉されれば幹事長は少駐有鷺」

院内役員と選任の額觸

川五郎、牧山緋縅、河波荒次郎 井兵五郎、漆田敬一郎、鑿安新

南満に

おける

いて置々さその準備か進めてある。この事実はまたこの職の消息を

| であるが現実の情報を | であるが現実の情報を | であるが現実の情報を | であるが現実の間が、今年は一帯に | である。 | である

一般の中心地さして根に同総合から中心地さして根に配換をの他は繁観が見ばいるが、これであるだけに無外は繁観が近であるがけに無外は繁観が近であるだけに無外は歌観が近であるだけに無外は歌観が近であるだけに無外は歌観が近であるだけに無外は歌観がは歌いの強い

共産運動の現勢

ルジョア階級の検討

總てに遺憾なきを期す 関原より安達に対治上の首相の てゐるが

東京 である、従って東震さしては落台と考慮し、 ・ である、従って東震さしては落社事性や ・ である、従って東震さしては落社事性や

な山地震の獣氏説もあり又驚然務 い山地震の獣氏説もあり又驚然務 の歌脈有力でその他機井兵五郎 安達内相を 事實上連絡係

十日政府與黨懇談會で決定 な事はない免費にないの権力において新 心のそれさ同様で

なほ保料子その他より二、三質問 となかつた。これは今後責任問題 を如何に處置するかその成行を監 を如何に處置するかその成行を監 をかった。これは今後責任問題 によって境がした

1

綿糸統一稅問題

利子引下げから 据置貯金の排戻

露支交渉に對する

支那の最後的訓電

東鐵問題の根本解決



『東京七日養電通』六日貴族院研究會における弊社事代に関する間 一次會における弊社事代に関する間 一次の計伐方針電子 一点がり、一部に関する間 一点がり、一部に国する間 一点がり、一部に国する間 一点がり、一部に国する間 一点がり、一部に国する間 一点がり、一部に国する間 通り接触は先づ人 石塚總督が近く上京 5一時にどつさ出盛るのではないかさいふ懇神が行はれてゐる 滿織さしてになるべく順調に出てくれた方が部合がよいけれご 今の減攻時代ではそれがせめて もの樂觀材料だらう、それより もの樂觀材料だらう、それより もの樂觀材料だらう、それより もの樂觀材料だらう、それより を見に一應總裁に報告の上拓務 では出してその密議承認を求 かるここになつて居る

霧社事件善後策 るさはい、数の内機は時間構造型 な態度を探つてこれを遠慮してる な態度を探つてこれを遠慮してる 模様である

十日頃靑島發日本へ

豫定である

眞茹無電の

開場式

後五時骸會八日職繁の靴職をた

認識問題等につき機関極限の歴報

か

組のため七日ばいかる丸で來速し

周寮藤嘉十郎、少尉石俊平四氏ン た海軍將校へ向つて右から軍野少

即のため内幸町の冒閣が続いて入院中であった小泉連様は最近すっかり 『東京七日養電酒』がらく胃臓病

五十分發興津受歸京したが三時間に底を聞公さの會見は前側なき事に底を聞公さの會見は前側なき事 年後九時十五分選郎七日午前八時 五日午後六時赎津に西國寺公を訪 一覧・三時時候に取り時局談を交も 一覧・三時時候に取り時局談を交も である。

馮氏の亡命決定

山本男園公會見

バ氏組織承諾



蝮・の 蒸 焼 元 大連市信濃町三七 で作の前に苦じまれる方、平素濃弱で元氣のない方は是非一度御試 で作の前に苦じまれる方、平素濃弱で元氣のない方は是非一度御試 と下さい、試用分散明書御一報次第贈呈致じます。 まむ
志の
楽 元 大連市信濃町三七 小松 家瀬郷本店

十一月中の成績から

十八萬圓の拂出超過

内科性病科 アツミ 急患 往診 随 時 信濃町市場前 時で アツミの時に

二里程はパラシュートの郷を引かってに緊密する様りださうだ▲師トで、一番には既に今送約一千回パラ 落下の名手さいはれてゐる 二里程はパラシュートの網を引か 担強機官。ヴィタン 新らしきバーの 本日開業 サ サカ 浪速町 浪速デバート階上 力 ナショナルバー

サ

会を照き 会を照き 会を照き 一、 想管金三千萬圓融通の件 一、 初野半数貯蔵で金融通の件 一、 七十四銀行に對する貸付金債 選期延長の件 選期延長の件

十五、六日與預金前費金運用委員

用委員會

110

あま酒用は関語を元酒

F. IL ZUTHONDHILLYN 一般吾平椿油 電話ニニニニ五番

大様を 八日(南西の風)晴後雲

東京、 物語を 打き では南流における 共産主義連続の では南流における 共産主義連続 では南流における 共産主義 では南流における 共産主義 では 東著は 支那人であるか、 原説する が、 変素 を作りる 自然 では 一次 では 南流における 大変 は 一次 では 南流における 大変 は 一次 では 南流における 大変 は 一次 では 南流における は 一次 では 南流における は 一次 では 南流における は 一次 では 一次 では

開きこれ等の職家を決定する管する際であるが八日大職者議を

大日養電通り (大日養電通り (大田では、 (大田では) (大田

負は五名の少数こと事實上獨裁 対政官で等とき實力ある首相の 外政官で等とき實力ある首相の 外で、これ産業界を数ふ唯一の方 ない。これ産業界を数ふ唯一の方 の、これ産業界を数ふ唯一の方

獨裁的政治を提唱

十八名、宣言書を發表

八國勞働黨議員等

無比の滋養器 一大海を軍獨横断飛行 に最初の成功者」で云ふ に最初の成功者」で云ふ 歐亞征室の女王 喜びこするものなり
成功の一端に寄與したるを 意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と

意を表す」と せて日く を發し 亞細亞石油株式會社 供給の整備 品質の優秀 强吐

か

ts

中絶されてゐた交渉を復活し

滿洲產業統制

0

右の建隘に基き政府ではいづれたの建隘に基き政府ではいづれた。在京催に二日、各方面の狀況を観察する餘暇さてなかつたが、震床金融は目下のさころ大が、震床金融は目下のさころ大い、在京催に二日、各方面の狀況を視察する餘暇さてなかった。

を設け

行家職、その他犯行事機が明瞭さらあり販調べた役はずにあるが照

高校入學者選

拔方法發表

須贈會されたいさ 発酵**會されたいさ**

他書類で共に送局する響である

『東京七日養電通』昭和六年度16

毒霧被害は

病人だけ

爾爾富古繁作

白保健省發表

委員

機關設置は延期

七年度には是非實現

は深刻の

聯合總會にも一寸出際田副會頭談

病の正體を調ぎ中なるが、六日左上保鑑者はマース沖地方の霧の命

平運轉

平 同會職は大正十五年來支那政局不 既等が髪加磁職する管である 無職等が髪加磁職する管である が、此の が、此の

明春から支那側で 1 に親土用の小陸電氣ショベル及び探院能 1 二十二重、大型電氣機關車三重 大型電氣機関車三重 まれてゐる『撫順電話』 早大の監督 大下語氏

調査統制機關設置方を政府に建調査統制機關設置方を政府に建調査統制機關設置方を政府に建

製 黒 黒 川 山 崎 の

振り出して、 ・ 本の ・ は、 、 は、 、

博多水たき酒ール

奉天長春間

0)

航空便計畫

長春飛行場の竣工を俟ち

始する漢定であるがその成一天電話 一次の大響大、長額航空郵便飛一厩地に延長する影響であるさ 【奉空際は明軽長軽…符場の幾一飜地に延長する影響であるさ 【奉空際は明軽長軽…符場の幾一飜如(低)のなって 兩三日に確定 で程館大きな地震士三回連續略に 野福せんを野備中である 日午後零時四十分から午後四時ま に近かったので一部住民は今夜は のでである に近かったので一部住民は今夜は の二件であったが、かづれも決戦時に建議の件

またも熱海地方

麻脈部膜から

館で血が洗ふ家

入港船舶檢疫數

題き亢奮

地震に脅やか

仕民は野宿の準備

東北航空際は

大下氏は語る

優勝旗爭奪の

沿線チ きのふ朝日小學校で開催 ムは總崩れ

ン氏は五日六時四

教育教師ニコ

だものらしく世中に

文那政府がモスクワ會議の

に就

+

月八

どんなに發達す

紫檀細

資任

大連ではスピードスケーキング でロングのスケートを穿きだらた は でロングのスケートを穿きだらた は がちアイス、ネッケーはやつて 脚あ、総るにその養運ぶり満洲に 脚できへ微飛時代には満洲の脚を すできへ微飛時代には満洲の脚を すできなが飛時代には満洲の脚を すでも、ためでは、大連で何 は

てい、しかし其人は恐らく住れて一はだらう、その人は一度他に行ってン 子供等が保を語るか聞いてみるとと すべてが地離されるだらう「今日 は新が聴くて使も出来なくて実し

リンクの顔気である、他の次は

は楽まれてゐるさ云ぶから知れなは楽まれてゐるさ云ぶから知れな

人 て近る魅力を失ふ、普及養薬は無 これではや種のスケーチングの豪 一 一 歌に望まれない、大楽が惜しぞっ 一

きのふの卓球爭覇戦

校時代からステックを握つす 出を認めない、概本を小學校のある者を得なければ前の世界

高松宮兩殿下 伊皇帝御訪問

身邊も漸く

哈市支那官憲の白系露人歴迫

ストル大主教の

中であるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一のであるが最は一に境内が等き薬。 一般変の概念は、東郷、老虎薬、 一般変の根源はあるが終三十萬四一 を変し、東郷、老虎薬、 一般変の根源はあるが終三十萬四一 を変し、 を変し、 一般変の根源はあるが終三十萬四一 を変し、 を変し、 一般変の根源はあるが終三十萬四一 を変し、 を変し、

總經費四百萬圓を投下

露天掘の機械化 ハ年度で略完成

「東京七日餐電通」早太野磯部監 で、三日前押川先輩から其の話 があり一兩日中に餐表する事に があり一兩日中に餐表する事に

れ用度A組に 原及び賞品授與され午後九時三十 分際會響に終了した 第 盤 校 ― 渚クラブ 信 ― M S E 信 ― M S E 日度 A組 ― K U A電 日本 A組 ― K U A

連ルアイスホッケーは決して他の地形に然るものではない。 がは歌を逃ら二三日前から歌紀したが状酸は燃煙できてしていい、がはごんな形でも不臓の手入が必要である、天然がはこんな形でも不臓の手入れがの影がある、その要する配用になったがあり、その要するを開した。

・ 他をしめて居る、彼等は最上のコンデイションに於て七年間の猛然 野なする事が出来る、しかしそれ ・ 以上の養涯を親むなら各中學から ・ 大生の養涯を親むなら各中學から ・ 大生の養涯を親むなら各中學から ・ 大生の養涯を親むなら

サラ五番地西洋家山 高硫酸・Cっては元人では元素・ 高硫酸・Cっては元素・ 一でもな文郷で、 一でもな文郷で、 一でもなった は元酸販感にあった は元酸販感にあった は元酸・ では五く、目頭の 人では五く、目頭の 人では五く、目頭の 洋泉水。中花家。父母。

無順ピクトリークラブー大石橋 連信クラブー→樹工 撃校 連信クラブー→樹工 撃校

家庭 に惠まれず への鐵道自殺

新聞記事取扱

A

瓦斯 A 組-

盤

豆河口

中国の主義を指する。 一本語彙、「一本」というである。 一本語彙、「一本」というである。 一本の主義、「一本」というである。 「一本」というである。 「一本」というでは、「一本」というでは、「一本」というである。 「一本」というでは、「一本」という きのふ沙河口驛附近で レ氏釋放さる 大連記者協會幹事六氏は六日午前 展定の新聞記事取扱めに関し相互 展近の新聞記事取扱めに関し相互 展がの新聞記事取扱めに関し相互 を対して大田長官、三浦、中谷 に確意無・意見を突換し正午午籤

七日午前六時代ごろ た際臓能顕二つにな た際臓能顕二つにな

が誤解を招いたのであるこ 校友會主催の第八回全満州瑞兵競大連商業校友會並に大連女子研業 珠算競技大會 一村學務課長品付流に踏み 日ばいかる知にて歸低した満個

大衆與行 ドロラのイマ

| 野校職堂にて開催されるここにな

階下三十錢解放

電話五八七四

駿豆地方震災

帳簿類 **| 事務用品** 連進

見切を 世紀を通り

開店以來始めての大奉仕 合 種 G 年 版 80 一割より五割安

ウント超特作無聲版 ピーデー 主軍梅村蓉子 伏 見 直 江

主



足に觸

辻吉郎監督作品

一豆 国 御三人様以上白雪三本御宴會には是非御利用を願ひます金一個以上何程にても伊相談に應じます。 親切叮喚は常店の主義、定評の料理、自慢の自審親切叮喚は常店の主義、定評の料理、自慢の自審が信息が カフェーブラジル 信息 町 カフェーブラジル

股であれる 東京西単鴨町一七四 東京西単鴨町一七四 ・ と

界各國酒類: Ŋ

本忘 年 新 年 宴 飲放題喰放題

宅 食料品 0 連大山通

東京風菓子謹製 3

現代生活の 嘘味に! 歲暮贈答品

珍 物

日本各地名産

酒渍

美校競技の軽くな形態する部盤で 現り本年中に想見二十餘名の名数 の際空線一型打開策のトラブを がり本年中に想見二十餘名の名数 のを空線一型打開策のトラブを が

新展災色改良法に就て 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 「震撃」を対し、 にする出産 にする出産

神軽染色改良法に

に際戦流戦の際況で に際戦流戦の下に五日年

後六時公會堂

0

三班に分れ

歳末の特別警戒

撫順署で萬全を期す

大変の養根金単型のため二條題子 北行列車で献公した 会お戦の常年戦は小豆地方の大戦 際に築物五日十一時四 会お戦の常年戦は小豆地方の大戦 際に築物五日十一時四 野阪軍曹村 動 阪軍曹轉動

文會は二十日衞成病院にて際鑑す 農事試験場 田口 鐵維

社員會婦人部で 委員十名を選任

近く事業計畫打合會

▲小田拓務省通譯官 五日安東より 表春運輸事務所長 **五**日過

青訓所の

世から四日伽下げは一般版命器に一般なるとに對しば野保密主に配けている。

程度協議

加入を勸誘

民共濟會へ

既に會員二百五十名

は六日急行で來源小學校において

安

父兄懇談會

を開館することの開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを開館することを表現るとのできない。

地委茶

話會

岡田博士講演

殺人犯逮捕さる

警察の歳末警戒

から何れこれによって歌ゆされ覧がはあるまいこの意識である

姜の復縁

要求空し

「際に就て約二時間に取り職後を監に続て孤等教育會戦のため蒙古事に続て孤等教育會戦のため蒙古事に続て孤等教育會戦のため蒙古事

官學校を卒業した蒙古王パプチャ 旅順第二小學校を終へて日本の士

田中正氏講演

藝妓を繞る痴情から むごたらしい犯行 着二十二名にとて流興は左郎の処 常田の出席 會裡に四時體會した、盤日の出職後二時熙事試驗場の謝堂に獸傑盛

一、満洲産飼料に就て第一報 廣く全市民から 義損金募集

都に胜き同地で新聞配差をなす

電影旅艇を洗べ見付に今回準代 を とた、氏は本年三月報天際大を本 とた、氏は本年三月報天際大を本 を は、大日本が成へ挨拶。 の人である倫事務。

するからだ」▲さてごんなものや で変変の持つて通つた敷女性が撃し であったか否かな影響

あり谷墨院長の意見養美する歌の長の教育が針線を行れるが常日午前九時よりを開いて課館されるが常日午中は谷墨媛徳業最り委屈午後日中は谷墨媛徳業最り委屈午後日

乗に成て高年會な際でする東京で より需要会員にて原催されたが健 を探索と十日午後六時より棚町一 が要会量にて原催されたが健

・ 一般は一般のなりである。 ・ を記せば次のなりです。 ・ は一月中の鑑り型線 ・ 七七名

輸入組合業績

食物造口 付込資 成 高金數

山本師園長の水鞍・一時四十六分野州東に

九三、五五七〇〇〇一二三五件

小學校長會議

野職長、増田脱務係長出連へと自動を表した孤山探職所に改め、選ぶも年後二時四十分養運機管軍にで整線所に成め、機選ぶも国地探職所に発り機会を表した孤山探職所に発り機会を表した。

十三日鞍山校にて

商友會役員會

鞍

馬場氏 能岳 赴任

京子さんは多田さいふ男のセカン

一大学院 では 一大学院 で 本一大学院 で 本一大学院 で 本一大学 で で で まって で で まって まって で まって まって で まって で まって で まって で まって で まって で まって まって で まって で まって で まって で まって で まって まって で まって

参青は暫は歌ってゐたが、やが

聴語穴で五二番

駿豆震災罹災者の爲 曹弱縁校生徒に託し 防火宣傳 たので新義州 寒さが酸し

いいのに、

出て來らから

てそれが遺館でも残けらそんな、こと解り此の頃は思ふてもあられているがつせ。京さんな様月に異

「難いんだらう」を心しいてありやに見えた。

はて、それには何さなく心臓な語 はだけが愛ってゐた。 つれえ、月枝さん!ごうもさつき

てゐるのだらうか?此の間もうが経営を出る時に見かけた後姿が

ち京子と一機だよ。それにあ奴等 さ、幸吉がいふさ、月夜は初め さ、幸吉がいふさ、月夜は初め

▲荷飯一人五句以内のこと ▲荷飯一人五句以内のこと ▲荷飯一人五句以内のこと ▲荷飯一人五句以内のこと 本館に滿日牌句と明記 本館に滿日牌句と明記 本館に滿日牌句と明記 本館に滿日牌句と明記

こて、幸吉の語尾は難へてゐた。 田部のがへ摺り倚つて 吉成製版所

手なランアプウまでするなんでいていの?あのふたりがそんな時

酸質元

御指名下さい

の炊事手袋と

何れも 金壹園廿戋 百貨店で御求 送料 満鮮棒 四十五美

新年俳句與集

家庭手袋(裏話目なし 新二號ラクダ裏毛 色メリヤス裏(五本指)



附 B









から残月のガへ遊げ出したんやさまうだす、そこで、残月も大演にあまうだす、そこで、残月も大演にあってすったんやらう」さ、幸吉は落ち付いてゐるやうで、東子さ書島へ行いまつける未続がましいものが 一种木真 はいか思案するらしく歌々さしたまないがありままするらしく歌々さしたま 00 ▲講話〈兄童の運動を築養〉 圏学 ▲ラザオ機議 連 JQAK

世界を受ける。

の都合により

新の三人はホテルで少銭を潰ま、 する。また骸炭の形へ出かけて行。 外は可い月夜である。 つたわ、酸やばら漫歩かせられて はほんさに疲れちや 没人也 心の底で唸いてゐた。

てうそおつもやいだ。今日はちつるやうな風に漫歩きながら云ふ。 か。乗り続にばかり乗つて動いたさも焼きやしないちやありません から聞いたんだれる?味だら

> (三保松富士晨明) 彈語 (問機關府) 連東俱樂部

(夜討替我) 法暢山藤

附屬地の周圍に

築堤工

上事か

太子河の決潰箇所改修され

當局で測量に着手

の他に付熊説する歳

平松氏

無罪 處があった

> * の背中か叩いた。 無っ云つて、田部はボンミ警吉 また感に浮かされでもしたのかい

まるで自分の指妻にでも云ふ線なの事がだって、ちよい(一乗つた 一瞬がだって、ちよい(一乗つた 一瞬がだって、ちよい(一乗った て、また明日遊ぼうちやありませ

今麼は幸吉のがへ月校は向一方は悩さも越はないの?あのふたい日遊ぼうちやありませ ちつき幸吉の離か透してみたがいませうよ。れえ、そし 月校におぼれげれ月の明りに、

本講談(伊達購動) 総城警典山 本新小県(一)向島小県(一) 鬼怒 川小県照千代二郎、岩丸外五名 一) クロイツエルソナタ、イ長 関四七ペートペン作(一) ロマン ス二曲(イ) 〜長調(ロ)ト長調、 スキョ、ナデシタベルと夫人

ブル粧品

りもく熱って、何にかに彫骸してねりが一継になっても今晩は、鬱的いき、云った月枝の離は、鬱的い美

なきものはカルケットに非す

をあるなりませる。 「大きなります。 をあるとします、終胃を診断する事はなるします、終胃をある感胃がまずく(猛りだい。 なく、多さらだが高する事はなるしたで提供するのと同じ思さです。したで提供するのと同じ思さです。したですがあると知ったです。したをきつと取り戻しませっ。 たをきつと取り戻しませら。

三五二十十四韓侯

さ、月枝は飯に脱の高ぶつて水

電話長木町 四十二 新 商 店

舖本 酸物度 然 天 岡 師 下神明田神京東 香二七三一京東普最 香三二一谷下話電



年曜の舞歌なるな認め大窓音楽に懸絵形の歌正な歌歌音音において調査確究を取りまする活致 というであるが懸絵形の歌正は思絵 からであるが懸絵形の歌正は思絵 からであるが聴絵形の歌正は思絵 からであるが聴絵形の歌正は思絵 からであるが聴絵形の歌正は思絵 からであるが思います。 正 談あるも、これな呼後を表すると、 を 十三年より昭和二年に至るとのに適用する。 を 十三年より昭和二年に至るとのに適用する。 であるが、江木織様は大正 であるが、江木織様は大正

郵便物

を空中投下

航空便の利用を擴ける

候補地は靜岡、濱松、廣島、岡山

來春から實現せ

心ではる、機様でその會合は頗る重大 はる、機様でその會合は頗る重大 事前に強細せさりし監難に責任の事前に強細せさりし監難に責任の

霧社事件の

說明聽取

が髪んだ時の大きさい

會根本策につき電般の打合せが断に監る院内總務の人態及び弊

で落下級に関く

『東京六日發電通』 貴族院研究會 安達內相 事實上連絡係に

十日政府與黨懇談會で決定

重要協議をする

來十日に與黨總務ご

黨出身閣僚が懇談會

・ 出日入港のばいかる丸にて大連商品取、朝天商請書記長野派孝庄諸

五時より帝國ホテルにおい五時より帝國ホテルにおい

木、井上、町田、標田 一端の今期議會において直接監事の際に態として、常日 においって政府奥歌館の連綜総館の低にだりできり帝國オテルにおいって政府奥歌館の連綜総館の低にできるりで、都合に使り十一部長島出席の上首様の領中之に代わって政府奥歌館の連綜総館の低にできる。 大井上、町田、標田 一端の今期議會において直接監事の

頭の件が新國定税率に関連し ハ日天津で張氏と

おだ資本主教職権の完成されないというでは、かべき南清のアルデョアを変に置くは共産業主義運動の目標

共産運動の現勢

アジ

ヨア

階級の檢討

おけ

を 1 ととと、 1 ととしては東親問題の概本館 2 ととしては東親問題の概率を表現していません。 一標に進展を希望 人事行政、鎌算編成に一る意識である 支那の最 もつて概本された にするに努め、 にするに努め、 師費、教育資の細則協同管理の財産镰、贈園 女さ見らるゝ土地の回の所管に腐する鐡道經 問題の根本解決 後的訓電

満洲産業統制の 機關設置は延期 東北徽にかける鐵道敷港問題はそ 一度を経済を設ける大学の後級を構模的でより振學良氏は 大子萬元の公職を変集すべく銀道 で変語委員會は本月初館の會議に然 でな語を設けるの誤解を得にさ でな話を設けるの誤解を得にさ でな話を設けるの誤解を得にさ でな話を設けるの誤解を得にさ でな話を設けるの誤解を得にさ でな話を設けるの誤解を得にさ でな話を表するが、更に東北 でな話を表するが、更に東北 上急を要するものなるにつき速かて左記三線は國防上並に事業療法

七年度には是非實現

馮氏の亡命決定 十日頃靑島發日本へ

機關設置方を政府に建したの日本商議聯合總を大の日本商議聯合總

第二號等の舞音は對支通商 『東京六日養電通』行政新委員會 『天津特體六日慶』
『東京六日養電通』
「東京六日養電通」
「東京六日養電通』
「東京六日養」
「東京六日養電通』
「東京六日養電通』
「東京六日養電通』
「東京六日養電通』
「東京六日養電通』
「東京六日養電通」
「東京六日養」
「東京六日養電通」
「東京六日養電通」
「東京六日養電通」
「東京六日養電通」
「東京六日養」
「東京六日素」
「東京六日養」
「東京元日本、東京一日本、東京市・東京一日本、東京市・東京一日本、東京市・ は六日午前九時職舎、懸終法吹正 問職に続き就足懸総局長より警職 説明と参奏最より警職があったが 説明と参奏最より警職があったが

村上鐡道部長の所管鐡道巡視は八 日二十一時二十分大連寮を決定、 開行者「鷹井殿谷鵬長、門野鐡道

鐵道部長巡視

▲腰田臣直氏(大連商業銀行関取) 本日入港のぼいかる丸にて騎連 ・経崎嘉郎氏(同上書記長) 同 ・経崎嘉郎氏(同上書記長) 同 ・日本経崎嘉郎氏(同上書記長) 同 ・日本経崎嘉郎氏(同上書記長) 同 ▲宮川安敬氏(他兵大尉) 同上來 ▲宮川安敬氏(日本棉花) 同上 ▲宮川安敬氏(日本棉花) 同上 ▲石俊平氏 海軍少長 天福 公司

四零三九九一〇度四三六時

各地温度

臺灣で掘當てた 新石油層は有望 燃料界の一大福音

右の建議に基き政府ではいづれた。
表員會を設けることになるであらうが、委員會を設けることになるであらうが、委員會においても議書
の要望なり意見なりを充分額取
た、在京僅に二日、各方面の駅
た、在京僅に二日、各方面の駅
た、在京僅に二日、各方面の駅
た、在京僅に二日、各方面の駅
た、在京僅にはいても
流滑する
の駅
たいである大

發電通] 交頭部

の電茄

を採るこさは蓋し已む

時もあり殆ご投資同様にしてる 大明は比較的よい方だが京阪並 大明は比較的よい方だが京阪並 大の方の確子なども實行が悪く 上海方面では白葉硝子この競 生存方面では白葉硝子この競 大明は比較的よい方だが京阪並 大明は比較的よい方だが京阪並 大明は比較的よい方だが京阪並 大明は比較的よい方だが京阪並 大明ない京び立

復業 蘇格蘭炭坑夫

露支交涉

到する

同に充分徹底するやう建議した 日)より就業する事に決定した 望する上外終者の領活な取扱を要、 とうシド院境や観光な地では五日監地で トランド院境や観光な地では五日監地で

外交協會の

民衆學校

排外思想宣

二鐵道敷設を

で蒐集し均等の原則

建議

安徽省境へ 共匪退却

東北交通委員會から

愈よ積極的な鐵道策

し直に東北政務委員會に建設した

新州方面か G 二村學務課長歸任

午前十 一時より

夜間診療十時で 急患往診隨時 信濃町市場前 時 アツミ医院

サ 力 14

新らしきバーの 本日開業 浪速デバー ナショナルバ 下階上 14 力

歐亞征空の女王

ブルース夫人吾社に書を寄 に最初の成功者」」ご云ふ に最初の成功者」」ご云ふ せて日く

意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と 意を表す」と

五百五十二節所の分を集散して左 大津 臨 は 今後 はってに報告があった三十二府縣 安徽省縣へ連場とつ、あり終繁は 安徽省縣へ連場とつ、あり終繁は 安徽省縣へ連場とつ、あり終繁は 安徽省縣へ連場とつ、あり終繁は

鐵道輸送

喜びこするものなり成功の一端に寄與したるを 品質の優秀

世界 (大津六日養電通) 東北四省が需要 要する食職は大部分大治降近で生 機にて奥地方館に輸送されてるた 機にて奥地方館に輸送されてるた で選出す事になった

供給の整備

社

亞細亞石油株式會

無比の滋養强吐

まで

サ 力

がイタミンAB含有の高別を来あま酒 を経験に、ゲイタミンAB含有の高別を来あま酒 二葉町四ノ四四

1 路吾平椿油 IC LEAD THOUSING 油かごや油舗かごや油舗

山氏が會見 注目を集める

特電六日發 張學良氏ご閻錫山氏は今夜會見

その結果は大いに注目されてゐる

給法の改正案成る

受給の平均年齢を調査の結果

調査會で更に研究

連絡係設

臓線をは六日午後で駅に松田茶棚 | 機械である 『東京七日寮電通』 民政艦の原記 | あにも及ぶ 霧社事件善後策

臨識し輩性者の範疇を像へしめ年内に 無、政府の意識を像へしめ年内に 東京七日登電通」 抗砂管は粉社 東保を重大視し松田拓樹は先づ人 東保を重大視し松田拓樹は先づ人

は深刻

藤田副會頭談

内地の不景氣

生產費廿九圓餘

帝國農會の調査結果

玄米

研究會の態度 を如何に農産する き問題を重視

田拓相
そんな事はない兜番に
るる
感があるが如何

を重視するの態度を持してにめて研究者でした。これは今後 護低問題には「帰職」とは「中央」では、これは今後 護低問題には「中央」では、これは今後 選低問題というだ。これは今後 選低問題という。

によって掠奪した

石塚總督が近く上京 いさいふに一致した

森野技師は譲る な技師は譲る

政府は委員會 を設けやう 篠崎書記長談

開場式の

「南京の新興級分は大したもの たた、交通部長 間照はなくなった。予は胃腸を 帰感餓事その他 間照はなくなった。予は胃腸を 帰感餓事その他 害してゐるので直ちに奉天に歸 敷殖騰米大総飯 ち、今後中央政府を擁護し國家 管スチムツン 味 の建設に一臂の盪力を情まぬ決 こに黙し 繋が飛 大統 飯 である」 に學良氏は七日出發の豫定で

大大、交通部長王庇護氏上海市長張祥・大、交通部長王庇廷氏上海市長張祥・大大・交通部長王庇廷氏上海市長張祥・大大・交通部長王庇護氏主席さな

园 兇行後逃亡し浪速町で捕はる 八日夜西通の惨劇 へを殺す

害者長女美智子はオロ

起きを共にしてゐますが、一さんこは従妹の間柄で毎

要か速えやうさしてゐる に感波の絶え間がなか 能に感波の絶え間がなか に感波の絶え間がなか は加密者の質 にがいていている。 思ひつめた娘に迫る

百

戀に悩んで兇行

刺身庖丁で『殺してくれ』と

るで誠一は触て彼女に馳極部城と なっぱい 一は触て彼女に馳極神部城と 大きころによる かいました ところによる 関係やそんなことはありません

題は冷鬱に果然自失してゐる被被害者の娘談 遼東百貨店前で 好んでるなかつたさいふとである は蛇族綿織さなるさいふので繰り

犯人や逮捕 露西亞町に叔父を訪ね歸途 亢奮の ため其儘留置

のに加雪者は慌慨し口ぐせに叔父 の無情を蹴つてゐた、そればかりの無情を蹴つてゐた、そればかりの無情を蹴つてゐた、そればかり

同脳音から諸闘され「恐れ入りまでしたが暴の上に触惑が着いってあるのを「これはごうした」さ 加書著高橋誠一は同夜午後十時十分震楽町寒東百覧広南の人込中を分震楽町寒東百覧広南の人込中をが響が、中の継続を表記されたその時継元拠者 らう」こいきなり脳を掘んださこが犯人を發見「お前が続したのだ て「叔父さんは死にましたかどうで此の事は新聞に出さないで下さい」さ幾度もくく繰返して 向であつたちしいが坂本家に迷惑の及ぶを関れてか家人には會 述なかつたものである、なほ犯 はなかつたものである、なほ犯 が開業な取調で行っ た後常罷して今朝取調でること なったが犯人は真着な観かし なったが犯人は真着な観かし ち湾が手傷つて遊上しての鬼符だ せず智麗したが、喉分散影解影響か 人ではなく、日頭の豪庭解影廳か が大ではなく、日頭の豪庭解影廳か が

奉天長春間の

のでは、 の名級が発が強か流離して七時ごろ の名級が発が強か流離して七時ごろ

み初めいつもの通り小暗ま

めにかゝつたさころ、今度誠

て懸つて来たので誠一

行驚日加黙者が鴻線を帯びて在宅」のつたので感慨な日を送った、鬼気成せて美智子も心態まぬ氣間が

本 加害者は 東北線空際は明春長春神常島の婆 トラ 大日午後七時代頭魚で血な液な家 天電話 東北線空際は明春長春神常島の婆 トラ 大日午後七時代頭魚で血な液な家 天電話 東北線空際は明春長春神常島の婆 トラ 大日午後七時代頭魚で血な液な家 天電話 東北線空際は明春長春神常島の婆 トラ 大日午後七時代頭魚で血な液な家 天電話 明春から支那側で

OAKで試験放送 オース・ルーに研換へ放送試験 た行って受信を地からの感線が微 する事になった。なほ気事の放送 の影響がない。ないない。 は従来の三百九十四「メート」 で 送原ではラデオフアンの迷惑跳く なかつたので最近遠路障職以用受 なかったので最近遠路障職以用受 があった。其處で放 等さ法同し彼我分離して受協する」に接近し受協職取に際してこれ リ六日からはふ五日間、毎日午後「メートル」を使用するここにな 大阪の後長で接近せざる四百六十たのに鑑み今回前記の修蔵および

優勝旗爭奪の

一回卓球大

沿線チー

放送波長を

受信し易くする

四百六十メートルとして

美智子は「そんなこさは私に出來なこさからた、簡か続して果れ」

かしてワット泣き伏

自失してゐる美智子を顧み「大變」

机空便計畫 長春飛行場の竣工を俟ち **鸭書鑢ご共に送局する響である** 電車京七日養業通』早大野球部は 「東京七日養業通』早大野球部は 「東京七日養業通』早大野球部は 船等が登加協議する管である の個民政府交通部、大阪機能、総 の関民政府交通部、大阪機能、総 早大の監督 大下常氏 兩三日に確定

1数するさ汽船級で百四十隻

大衆與行

階下三十錢解放

駁豆地方震災 地切た

上事務 用 00

Ð





パラマウ

超特作無聲版

F D

でなる。 でなるまだ出来る、しかしそれ でなるまだ出来る、しかしそれ でなるまだ出来る、しかしそれ でなるまだ出来る、しかしそれ でなるまだ出来る、しかしそれ でなるまだ出来る。しかしそれ 進出を認めない。根本を小學校が 學校時代からステックを振つた事

任(左)下闘は被害者杉浦常一と

故職なく感識騒然であつた場合は一放送する事にするさを使用するがもから前記畝轍の結─蔵に三百九十五「メートル」を

直通の國際列車

釜山

のでならずな優なので釜山北平間 日巻嘘したき留を椰と出てよるをでは現在網天で乗り替へ 下氏は遮底にあらずさ戦難し暇三 作気に変した。これに難し大 下氏は語る 名

通】卑太野球部監

毒霧被害は 病人だけ

自はマース河地方の霧の奇でない、

光週中の

原作澤田撫松氏 足し 夜間·六時十五分 演書間·十二時半 開上映 演

辻吉郎監督作品 伏 見 直 江

大連市浪 JANUARY 核公泰德 地带工TUT速浪





界各 年

博多水たき酒 標準 本料理(無例)四一、飲放題〈七人樣以上二・三〇〉通宴會藝者ナシ 水たき酒、飲放題喰放題で七人様以上二・〇〇 人増毎に藝者一人 理側無別ピール十人標以上 1000477到11 △十五人に藝者二人 一・八○ 藝者附(仲居祝儀 一品料理→「應じます」 三飲一〇放 飲放題喰放題

人石橋

沙河口工場

具體築を協議する

脳ヒキッ

現代生活の 嗜好に!! 日本各地名産 一歲暮贈答品 珍

物

8

開店以來始めての大奉仕 G 任 販

な立派な大きな池があるがら大連に は悪まれてあるさ云ぶから無れない、しかし其人は湿らく壁れて一度もスケートをやつた事のない人 だらう、その人は一度他に行つて だらう、その人は一度他に行つて でらう、その人は一度他に行って リンクの縁駆である、他の派はそれ「何ん意味するか、天然神 きい山る に就て

た。 ち大連の人々は書から人選派の歌 なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからた事だらう。そして なからたまれた。 人 て起る魅力を失ふ、普及養薬は無これでは容極のスケーチングの養

た。地にも比を見ない程の立派なもの が多数にある、もかるに満州特有 の概接であるを耕運跡に對する数 り

地合い見せ

て充分人工派の維持は出来るはずから特に扱いたり湯を注いだりする必要がある、その要する費用に

きのふの卓球争覇戦

全商品正價の

午前八時より號目小學校職堂に然「宮鑑の餘地なき観報で接手整鑁で一個MP優職檢報報車球大會は七日」よ奏加の下に懸行さともの談堂も由本運動具包含能本社後畿の第一「て巻加チーム三十二の大多數チー きのふ朝日小學校で開催

走波長け三百九十五「メートル」 大連放送局で復來使用して來た放

ートル」は雌獣の三百九十「メーであったが、此の三百九十五「メ

屋でさても滑れな 総派は盛くなる ケーの資似を いくてたまらない

藤井司法主 田中の滿洲転換は晒き津田東瀬戸 歌塊振りに午後四時頃までに等こ 歌地振りに午後四時頃までに等こ

明春二月東京の聯絡會議で のたが第二回戦に五斯に破れ で表チームさして大に氣を吐

見

羅刺 音臺 電田 〇〇 洋 紙 滿M S TK

慶應軍勝 帝大ラグビー 多数によって48

白保健省發表 日夜も開催

東京西東 鴨村 一大 警務 学 自 大 警務 学 自

第個三人樣以上白雪三本 個 料理 二品 付

酒 類.食 0 料 00 大山通

東京風菓子謹製

田、早瀬、

棚三簪部(五等)

三班に分れ

T

歳末の特別警戒

撫順署で萬全を期す

火災の養指金辜集のため二條皆子公主領の青年際は世豆地方の大震

附屬地の

周圍に

こも歩きやしないちやありません

今日はちつ

さ、月枝は伽の踵尖が蹴り上げ

か。乳り糖にばかり乳つて歩いたさも粉きやしないちゃありません

遼

築堤工

上事か

太子河の決漬箇所改修されず

當局で測量に

に着手

り降りたりちや疲れて了ふわよ。 ・ 工郷物だつて、ちよいく〜乗った ・ 国調で云った。

ただが、そのま、口を懸んで了。 幸吉は頓狂な壁を出してから明

たっ云って、田部はボンさ幸吉 の背中心呼いた。

京 JOAK

しつかりおしよし

▲ 大氣 強報 本 財理 動立 事業 紹介 事項

震災義捐興行

った。

外は可い月夜である。

つたり、骸々ばら漫歩かせられて

ずさ、また都院のだへ出かけて行

沒入

理髪料値下げ 町のニュース

の銀首部技師 五日安東よりにて來奉

鱼通譯官 五日安率線

X春運輸事務所長 五日過

拳銃で暴行

変態からの入學生父兄さ教育と

平松氏無罪

て、まだ明日遊ぼうちやありませ

が加減

六日午後 - 昨頃宮島町ご北五修通 りの変叉點において運輸手傷結清 (一八)の運輸せるトラツクで衝突し 十六番地自時車運轉手高昌根 (二 十六番地自時車運轉手高昌根 (二 中の変叉點において運輸手機結清

十五日夜柳町泉に於て盛大に開か 本天新聞の高田廣四氏の送別會は

過日旅順で行はれた職員支那語與 過日旅順で行はれた職員支那語與

一日安奉線に出張する豫定日は奉天視察、十日禅順往

金さして金十二圓卅六錢

き、それはまり子の泉棚に降いて その突端をゆったのが五日野呼さ 見れば郷らの全球で高は行語った なったチャキ(への江戸ッ子久敷 の際空線一製作際策のトップを 繋が二十郎、職品館ちのと楽十八 がり本年中に継載二十餘名の名数 能の二名で部切れの好い處で先ろ をかまるとなった。 なったチャキ(の江戸ッ子久敷 のとった。 をかまるとなった。 なったが、はまります。 をかまるとなった。 なったが、これのが、一覧である。 なったが、これのが、一覧である。 なったが、これのが、というである。 なったが、これのが、というである。 なったが、これのが、これのである。 なったが、これのが、これのである。 である。 なったが、これのが、これのである。 なったが、これのである。 なったが、これのである。 なったが、これのである。 なったが、これのである。 なったが、これのが、これのが、これのである。 なったが、これのである。 なったが、これのでは、これのでは、 なったが、これのである。 なったが、これのでは、 なったが、 な

地方事務所水道保りでは六日夜十二時から午前四時まで給水塔直下の制水橋取付けのため全市にわたる断水を行つた 九日朝六時四十分着列車で來奉す沿線巡視中の村上滿鐵號道部長は 庶民共濟會へ ▲程文選氏 五日長春より飼奉 本所之下、師園参謀長 五日過 本院達 本院達 本院達 本院達 本院達 本八日廿一時來奉の筈 名八日廿一時來奉の筈

青訓所の

渡があつた

地委茶話會

震事から不出述の鬱無薬の残決部、 神九時蝦事能送ぎに放て佐藤市鉄 神中であった飛槎以下氏は六日午

んかし

変勝するやうに今少し考慮して覧 という四日値下げは一般の実験に なよらのでないから一般の実験に をいる四日値下げは一般的希望に をいるのでないから一般の実験に をいるのでないから一般の実験に

加入な勸誘 既に會員二百五十名

を開催することの場合は八日午後一時か

士講演

は六日急行で來選水學校において

父兄懇談會

安藤堂に成て駅催するさ の線流會に十日午後七時から小學 受験を大神醫學博士隆田道一氏

得たが帯くも響倫の頭低にありな でも便所の戸板を貫き事なきを がにも便所の戸板を貫き事なきを がら観影極まる行為さして今や

主 嶺

殺人犯逮捕さる

警察の歳末警戒

五日から警戒

班增設

藝妓を繞る痴情から むごたらしい犯行

製加書者は平城を取扱よ料理人の 製加書者は平城を取扱よ料理人の に支那官職出所佐藤註低以下の に支那官職出所佐藤註低以下の に支那官職出所佐藤註低以下の に支那官職出所佐藤主は低以下の に対象を に対 に対象を に対象を に対な に対な に対 に対象を に対象を に対象を に対な に対象を に対象を に対 一、満洲産飼料に就て第一報

「織の問題にお同妻の後級の参力もかでもと登二様でもごのお西職語を開き館職務を在

なったが一方金在平は十六歳のしく一人勝しく郷里に歸るこさ

の結婚には不服で大い

青葉町山口融會では今岡幽賣全殿

白米の特價賣

から何れこれによって認可され

田中正氏講演

こさであるからその位の程度野し智察職で「事情已むを得

姜の復縁

要求空し

に続て被等数育會量のため蒙古事 に続て被等数育會量のため蒙古事 がら旅艇第一小學榜識堂 のため蒙古事

ないの配人は同地料字双値堂の抱 を重により発意を生じた雑は居 が変量により発意を生じた雑は居 は、まり発意を生じた雑は居 は、まり発意を生じた雑は居 廣く全市民から 義損金募集 駿豆震災罹災者の爲

は居に関し六日午後二時より地方事務
は居に関し六日午後二時より地方事務
は居に関し六日午後二時より地方事務
に勝いたとも
をもる確認者の緩遇に関したる紀
をもる確認者の緩遇に関したる紀
をもる確認者の緩遇に関しては
を持た、一大年山の
の人と地方事務所が主さなり流鏡
年末年始の行事に関し銀線整験を
を大きの行事に関しると
の人と地方事務所が主さなり流鏡
年末年始の行事に関し銀線整験を
を大きの行事に関し銀線整験を
を大きの行事に関し銀線整験を
を大きの行事に関し銀線を表した。
の
の
は名談所において表指常附金を募。
最い語の結果
を共に六日特急で現影響を
を大きので一代書館
の
の
は名談所において表指常附金を募。
最い語の結果
を共に六日特急で現影響を
は、一大年山の
の
の
は名談所において表指常附金を募。
は、第一時面新年末年始は成るべく質素
を
が
の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
は、一大年山の
の
の
は、一大年山の
の
は、一大日の
は、一大日

不 逞鮮人押送 全事集を開始するにつき谷位服分 も近く行決議に基き名が底に 義指 とことに決定 が関係を関係している。 を事業を開始して、 を地方事務所で一 微楽市中料理広答戶で注文を取った決議配行し向正月の電話総は 年末年始の贈答品はこれを設止を旨さしませう。

三栗組合に佐藤榕安にして飲してない

岳

明あり名學校長の意見養表する歌歌市式展店間の各小學校人長由小學校にて課鑑されるが監日午前中は各學機機製造り影響を後日年本的人時上の数十十三日年前人時上り一般。

大学に然てぶ年會を開催する學定で ・ 本り管架會堂にて開催されたが做 を探信と十日午後六時より柳町一 ・ 本り管架會堂にて開催されたが做 ・ 本り管架會堂にて開催されたが做

輸入組合業績

・ 養捐金を募集

探鏡既況を視察なし午後六時三十

小學校長會議

野職長、増田庶務常長出地へと自動車にて整線所に配め続線工場を誤解し室町俱樂部にて整線所に配め続線工場膨端工場を記録し室町俱樂部にて査

十三日鞍山校にて

商友會役員會

が職師は関東駅の脳山民平氏にて が職師は関東駅の脳山民平氏にて で 谷小學校職 報山小學校 にて 九日午後九時より

唱歌の講習

山本師團長の

事 対、変異版表別の正の は今回式原成地方事務所度新術で して影響する事でなり五日正午餐 で、たが在院五ケ年に及び多野社覧及 いたが在院五ケ年に及び多野社覧及 馬場氏赴任

て称雌で京子のその後の常息を平さ、幸吉がいふさ、月枝は初め 「え」、そん

「え」、そんなこさがありますか

てもれはさうやったけれど、今は 事なランアプラまでするなんて… たらしい調子で云のた。

大其腰刷ハッ縄ロ土 ルパンで、ウェスを極い、変な、ウェスを表し、 プープ、具 荒用プ 物品ラ 一器類

酸質元

宗田新商店

堂然

復定 三十錢 三十錢 三十

題道修叮二丁目

番二七三一京東替振

番三二一谷下話電

電話長木別 四八六三番 電話長木別 四八六三番 和 八大三番

網目銀版」「窯順石版 吉成製版所 學認三六九一番•

御指名下さい 御指名下さい

送料 磷鮮梅 四十五美 何れる金売園井田田定價

1

0 ゼ 即論は外のでは、 解熱藥

今度は幸吉の方へ月枝は向 四一方は「配さも魅さないの?あのふたが 「れえ、勢さん、それを凝鬱に量 好評のライオン 管用日記 管用日記 を種の日記中その装釘のフレッシュな話は勿論、新質、印刷の良好なでも一中型(四六列)金八十銭、 か型(領半載)金七十銭、普及版(中型)金五十銭は特に好評を以て理りて理りの大列と乗ります。

き酸つてぶった。 を書は、彩さうにもて、矢敷り が言は、彩さうにもて、矢敷り がはさつきからごう。 も工合が悪うてごうもならん」。 も工合が悪うてごうもならん」。 りが一様になっても?………」

た。その素板が質に滑稽なくら 「無いんだらうし宿」寝てるりやに見えた。 「それが顕常でも程はもうそんなこさ齢り近の頃は腹ふてもあられ

防火宣傳等なが職し

がは、では、月枝さん!ごうもさつきでは、秋月のやうだったれ。 かがへ 歌天のがへ 引き返したさい かゆらうか いかの しゅうだったい の 吹て るるのだが かいかい こと ない さ、田部になだめるやうに、それには使さなく常数な語して、それには使さなく常数な語 んがなあり

新年俳句演集

それよか

を練りかせ越り衛路に脱ったに午後一時より五金の村に午後一時より五金の

は、常島のおへ行つたさいふ語し

つき触れてるたっ つきゃ

本職題「社頭響」 本間編は東京市牛込風若松町 本可に満川俳句さ明記 本原編は東京市牛込風若松町 八二島田膏崎宛 八二島田膏崎宛 八二島田膏崎宛 、田部のがへ掛り飾つて、月枝は其の手を擦ひ逃り 、幸吉の野尾は臨へてゐた。

幸吉は暫時跳つてゐたが、やが 粒

家庭手袋(変ぎ目なし) 一號 ラクダ裏毛 (五本指、三本指) 色メリヤス裏(五本指) (五本指)

室粧品

羅紗 小倉厚司 山本洋行



◆課題「羊」一人五句以內 ◆大連市能管町十高個月南宛 ◆大連市能管町十高個月南宛 (二個)) (二個)

x

新年川柳募集



御 進 物 用 央製な株式會 各

▲支那劇〈問樵闌府〉連東俱樂部り山下千代

見て

寒知子

乳國 の程希上げ参ります。 なく御禮を申し上げます。今年も亦年 なく御禮を申し上げます。今年も亦年 賣行菓子界 進 物には これり 第

なきしのにカルケットに非す

素質傾向の出現に就て 一、 硼酸キニーネ内服にする出血 一、 硼酸キニーネ内服にする出血 大會は二十日衛戍病院にて際鑑する。 編製品の財館的ニッケル鍍金 一、編製品の財館的ニッケル鍍金 一、編製品の財館的ニッケル鍍金 一、編製品の財館的ニッケル鍍金 一、編製品の財館的ニッケル鍍金 一、編製品の財館的ニッケル鍍金 神經染色改良法に就て 神經染色改良法に就て 氏末雄

1 新職支展後級の防火館館の海賊線 「火中の搬姿」を七日午後六時 金倉堂に上映のごころ都合により 兵分艦隊服野阪軍曹博動 公益艦 窓 下野阪軍曹博動 公益艦 窓 大行列車で離公した に開戦流量の際 歴況であった を発表している。 を必然新聞記支 傳映畵

0

また窓に浮かされてもしたのかいてる器がないよ。はーア、幸さん 心にまつはる米郷がましいものが から聞いた人だれえる。嘘だら 心の底で唸いてゐた。 幸吉は落ち付いてゐるやう 本川資本川資

連 JQAK

一种木真 °° 00

三六

で 解か思彩するらしく戦々さもたま、 一節だけで是際して見せた。

↑ 本ラデオ機様 ・ 本藤話(兄童の運動を築養)器学 博士岡田道一 琵琶(夜討曾我)法暢山朦 の運動を築養り醫學